

第23回（令和6年度） シニア地域活動入門講座（第4回）

日時: 令和6年10月23日(水) 10:00～12:00

場所: ヒタチエ別館3階 日立市社会福祉協議会 会議室A

内容: 身近な地域で支えあいの活動を ～援助が必要な方を支える仕組みとは～

○ 趣旨説明：宮本 淳 氏（市社会福祉協議会 局長補佐）

住み慣れた場所で一日でも長く、自分らしい生活を続けたいという願いは誰もが思うこと。しかし、高齢・障害などにより、これまでは自分の力で出来ていたことが思うようにならなくなると、何らかの支援が必要となってくる。現状さまざまな取組み・支援活動が進められているが、今回のミニシンポを通じて、これからの支援の仕組みについて皆さんと共に考える場としたい。

【活動発表】

○ 地域包括支援センターについて:

飯嶋 千穂 氏（地域包括支援センター鮎川さくら館 センター長）

地域包括支援センターは、高齢者の暮らしを支える総合窓口、「介護について」「生活の不安」「地域の人と交流したい」「もっと社会に参加したい」いろいろな相談・活動の窓口となっており、どなたでも気軽に相談できます。対象者本人と支援する側の関係機関が情報を共有し、連携しての支援が大切です。日立市の地域包括支援センターは学区別に8カ所あります。

○ 障害者相談支援専門員について:

森 真由美 氏（NPO法人 スペース空 主任相談支援専門員）

障害を持つ大人、子供またはご家族の意向や困りごと、生活のしづらさなどを、障害者サービスの利用やいろいろな社会制度を活用し、自立した日常生活や社会生活ができるよう各機関の専門員と協力して必要な支援を行っています。

○ 生活支援コーディネーターについて:

縮 美雪氏（市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター）

住み慣れた地域で長く、暮らし続けることが出来るように困りごとを把握し、支援内容を考え、支援が必要な人と支援者をつなげるなどの仕事を担当しています

・困りごとの把握 ・サービスの紹介、マッチング
・地域の社会資源の把握 ・サービス提供事業者と情報共有

具体的な活動は、日立市社協だより No.161(令和4年5月5日号)

「近所の方からのSOS!!」に紹介しています。

【教材】・日立市社会福祉協議会のあらし・地域包括支援センター・NPO 法人スペース（パンフレット）・障害者相談支援専門員について・鮎川さくら館（パンフレット）他



趣旨説明と進行役の 宮本さん



発表者の皆さん



発表者の飯嶋さん



発表者の森さん



発表者の縮さん



熱心に聴く受講生の皆さん



講義の様子